



大阪対がん協会報

2025年12月号

公益財団法人 大阪対がん協会

〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

大阪国際がんセンター 患者交流棟 2F

TEL 06-7777-3565 FAX 06-6585-0353

E-mail: office@osakacancer.jp HP: http://www.osakacancer.jp

— 第66回 —

がん研究助成奨励金

2026年2月選考委員会 / 3月贈呈式

15件に各30万円贈呈

大阪対がん協会は、公益目的事業の一つであるがん研究助成奨励金事業を今年度も継続して実施いたします。がん研究助成奨励金は、がんの予防と治療等に役立つ研究や取り組みに従事している若手の個人やグループを助成・奨励するもので、今回で66回目になります。2025年11月7日から申請書の応募を受け付け、選考委員による採点後、2月中旬の選考委員会で贈呈者を決定し、3月に贈呈式を開催いたします。

大阪府下の大学医学部・歯学部・薬学部・看護学部、研究機関、がん診療拠点病院など約130カ所に応募を呼びかけ、募集要項などの詳細はホームページにも公表しています。「基礎」「臨床」「疫学(社会医学)」「看護等(緩和ケア・リハビリ等)」の4分野で合計15件を上限として表彰し、奨励金30万円(総額 450万円)を贈呈いたします。

選考委員は、専門分野別に「基礎」5人、「臨床および疫学(社会医学)」5人、「看護等(緩和ケア・リハビリ等)」3人の13人の方に委嘱しました。選考委員長は松浦成昭会長(大阪国際がんセンター総長)が務めます。

◇◇◇◇◇ 「2025年度選考委員」(敬称略) ◇◇◇◇◇

【基礎】

金井好克 (大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点特任教授)
高橋 豊 (大阪大学大学院医学系研究科教授)
谷口直之 (大阪国際がんセンター研究所糖鎖オンコロジー部長(名誉所長))
蔦 幸治 (関西医科大学医学部医学科病理学講座教授)
西尾和人 (近畿大学医学部長)

【臨床および疫学(社会医学)】

大森 健 (大阪国際サイエンス&メディカルセンター主任部長)
澁谷景子 (大阪公立大学大学院医学研究科教授)

関本貢嗣 (箕面市立病院総長)

中川和彦 (近畿大学病院がんセンター長)
中田佳世 (大阪国際がんセンターがん対策センター政策情報部長)

【看護等(緩和ケア・リハビリ等)】

池山晴人 (大阪国際がんセンターがん相談支援センター長)
作田裕美 (大阪公立大学大学院看護学研究科教授)
鈴木久美 (大阪医科薬科大学大学院看護学研究科長)

令和7年度 啓発イベント

大阪対がん協会では、公益目的事業として、各種啓発イベントを実施しています。がんの予防、がん検診の啓発など、がんに関する講演会等を開催しています。

令和7年度からは、従来どおり会場を使用した講演会等を開催しています。

令和7年度に開催（開催予定を含む）した主催（共催）のイベントは、以下のとおりです。

講座名等	開催日 開催場所	テーマ・講演内容
第107回成人病公開講座	2025年6月4日(水) 大阪国際がんセンター 1階 大講堂 ※アーカイブ配信は、大阪成人病予防協会のホームページをご参照下さい。	「がんの罹患と予防 人間ドックと検診と健診」 1. 当院人間ドックについて ～循環器専門医からみた The DOCK～ 大阪国際がんセンター 成人病ドック科 主任部長 西川 永洋 2. 子宮頸がん予防の現在地と今後 大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学 講師 上田 豊 3. 胃がん健診 早期発見するには 大阪国際がんセンター 消化管内科 副部長 上堂 文也
がん予防キャンペーン 大阪2025	2025年10月4日(土) OMMビル1階グラン 動画公開:2025年11月10日～2026年3月31日 ※詳細は大阪がん循環器病予防センターのホームページをご参照下さい。	「すい臓がんを早期にみつけるために」 ～検診・診断・治療の最前線～ 1. 膵がん早期発見における健康診断の役わり 大阪がん循環器病予防センター 顧問 田中 幸子 2. サーベイランスの観点から見た膵がんの危険因子 大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 副部長 重川 稔 3. 膵臓がんの外科治療 関西医科大学 胆膵外科 教授 里井 壯平 4. 総合討論
第108回成人病公開講座	2025年9月17日(水) 大阪国際がんセンター 1階 大講堂 ※アーカイブ配信は、大阪成人病予防協会のホームページをご参照下さい。	「膵(すい)臓がん 治療の最前線」 1. 知っておきたい！膵臓がん 原因と初期症状 大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 副部長 重川 稔 2. 膵臓がんに対する集学的治療 ～手術を中心に 大阪国際がんセンター 肝胆膵外科長 後藤 邦仁 3. 膵臓がん 最新 放射線治療 大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 為永 節雄
第109回成人病公開講座	2025年11月26日(水) 大阪国際がんセンター 1階 大講堂 ※アーカイブ配信は、大阪成人病予防協会のホームページをご参照下さい。	「肺がん診療と治療の最前線」 1. 肺がんの薬物療法はどこまで進歩したのか 大阪国際がんセンター 呼吸器内科 副部長 國政 啓 2. 肺がんの手術と手術前後の治療について 大阪国際がんセンター 呼吸器外科 主任部長 岡見 次郎 3. 肺がんの放射線治療 大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 診療主任 田中 和典
大阪対がん協会 新春公開イベント	2026年1月10日(土) DAIHATSU 心斎橋角座 ※松竹芸能公式 YouTubeチャンネルでライブ視聴可能です。	新春！初笑い 健康エンタメ 笑いとがんライフ LIVE ～笑いで癒す、心の処方箋～ 1. スペシャルトークショー (がんの正しい知識・がんライフクイズ等) 大阪国際がんセンター 総長 松浦 成昭 がんライフあとパイザー協会 代表理事 川崎 由華 2. 松竹芸能お笑いライブ (司会 小川 恵理子) 海原はるか・かなた 横山ひろし・春けいこ 酒井とおる チキチキジョニー、アルミカン、桂咲之輔

がん医療 展望 vol.22

がん患者数の動向をみすえた今後の医療体制

我が国の高齢者に関する最新のデータを見ると、2024年度の日本の65歳以上の人口は3169万人、総人口に占める割合は29.4%といよいよ30%に近づいてきて、過去最高になりました。この数字は世界トップであり、2位のイタリア(25.1%)、3位のドイツ(23.7%)を大きく上回っています。政府の予測では、我が国の総人口がずっと減少していくにもかかわらず、高齢者数はさらに2040年まで増加し続けます(図1)。がんの罹患は加齢とともに上昇し、5歳刻みで見ると現在、85-89歳が罹患率のピークになっていますので、高齢者の増加とともにがん罹患率も2040年までは増え続けると試算されています(図2)。少し細かく見ると、現時点で年齢別に最も人数の多いのは団塊世代と団塊ジュニアなので、2040年頃のそれらの世代が突入する超高齢者(85歳以上)と前期高齢者(65-74歳)でのがん患者が増加し、谷間の後期高齢者は減少するようです。

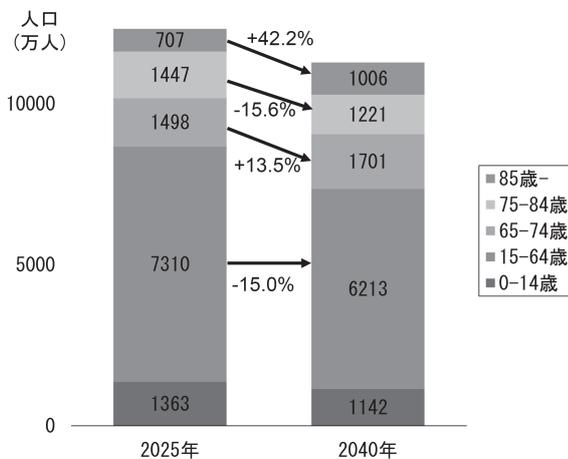


図1 2040年の人口構成

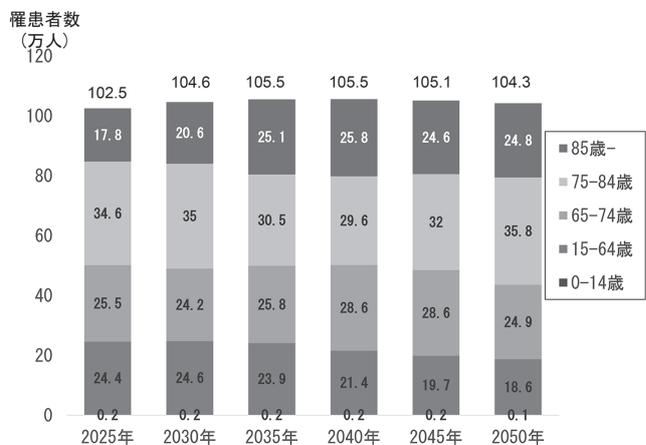


図2 がん罹患患者数の将来推計

日本全体としてがん患者は増え続けますが、都市部と地方では状況がかなり異なります。2040年の高齢者人口は2025年に比べて、都市部では2割近く増加するのに対して、過疎地では12%減少すると予測されており、すでに高齢者人口が減っている地域もあるようです。それを反映して都道府県別のがん患者数の変化率を見ると、増加するのは16都府県にとどまり、残りの31道県は減少する予測です(図3)。これまではがん患者が増え続けてきましたので、どの地域でも同じがん医療が受けられるように国は均てん化を進めてきましたが、がん患者が減るとすべての地域でがん医療をするよりも、どこかに集めるといった集約化が必要になります。がん患者の増加・減少は都道府県により異なるので、各県でしっかりと議論するようという通達が厚労省からなされました。



図3 がん罹患患者数の変化率(都道府県別)

大阪府も高齢化は進んでいますが、高齢者の割合は27.7%(2023年度)と全国的にはまだ低く、都道府県別では下から7番目です。高齢者の増加に伴いがん患者数も増えると予測されていますが、関東・沖縄・愛知県・滋賀県に比べると増加率は5%以下と少し低いようです(図3)。大阪府ではしばらくがん患者数が増えるようですし、幸いにして交通の便もよく、過疎地域もほとんどないので、当分の間は集約化を進める必要はないように思います。しかし、2040年より先にはがん患者数が減少に転じる時期がやってくるので、そのことも頭に入れながらの医療体制が必要でしょう。今後、皆さんの意見を聞きながら議論したいと思います。

(会長 松浦 成昭)

来春のがん検診 4月・5月に実施

2026年2月2日(月)から受け付け

- 検診機関 大阪がん循環器病予防センター
〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6-107
- 検診期間 2026年4月1日(水)から5月29日(金)まで
- 申込期間 2026年2月2日(月)から3月27日(金)まで

検診項目

胃

X線デジタル撮影 16方向 (10,010円)

検査を受ける方は、前夜の夕食を午後10時までにおとりください。

お水・お茶は就寝前までかまいません。

検査当日は、午前7時までにコップ1杯程度の水(約200ml)を飲んでください。

また、朝から禁煙してください。

肺

X線デジタル撮影 (3,740円) 喀痰細胞診 (3,960円)

胸部ヘリカルCT (13,200円)

※胸部ヘルカリCT：従来の胸部X線撮影では発見されにくい小さな病変を発見できます。

乳腺

視触診+マンモグラフィー (6,710円)

※マンモグラフィー：内外斜位方向撮影や頭尾方向撮影を用いるので、視触診ではわからない早期がんの発見に役立ちます。

子宮

子宮がんを主とする細胞診

頸部 (6,050円) 頸部+体部 (10,010円)

大腸

免疫学的便潜血検査 (1,540円)

申し込み受付後、採便キットを郵送させていただきますので、採便後、大阪がん循環器病予防センターまでお持ちください。

※前立腺がんの検査もできます(3,520円)同時に申し込んでください。

検診のお申し込みは 電話で

2月2日(月)からの受付を厳守してください

大阪がん循環器病予防センター(予約センター)

電話 **06-6969-6712**

受付曜日：月曜日～金曜日(祝日を除く)

受付時間：10時～12時 13時～16時

※「大阪対がん協会のがん検診希望」といってお申し込みください。
受診票は後日、ご自宅に届きます。